

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	女性と仕事総合支援事業		担当部局	雇用均等・児童家庭局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成11年度・平成22年度		担当課室	雇用均等政策課		雇用均等政策課長	吉本 明子	
会計区分	労働保険特別会計労災勘定/雇用勘定		施策名	Ⅱ-3-1 男女労働者の均等な機会と待遇の確保対策、仕事と家庭の両立支援、パートタイム労働者と正社員間の均等・均衡待遇等を推進する Ⅱ-2-2労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号 雇用保険法第62条第1項第5号		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	人口減少社会を迎える中、引き続き活力ある社会であり続けるためには、女性がその意欲と能力を十分に発揮して働くことができるような環境整備を図ることが重要である。このため、働く上で男性に比べて困難な状況に直面することが少なくない女性が、健康でかつ、その能力を十分に発揮できるようにするための各種事業を実施し、働く女性、働きたい女性を支援することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	働く女性、働きたい女性を対象に就労継続、キャリアアップ、起業、女性特有の健康問題やメンタルヘルスに関するセミナー及びこれら様々な問題に相談を行っている。また、これらの事業で蓄積した様々なノウハウを全国の女性関連施設に広く普及するための講座を設け当該職員を対象に研修を行っている。さらに、明治以降の働く女性の苦難の歴史を継承する場としての展示や女性労働に関する専門図書館、判例、統計等女性労働に関する総合的情報発信を行っている。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	338	301	245			
		補正予算						
		繰越し等						
	計		338	301	245			
	執行額		320	285	235			
執行率(%)		94.5%	94.7%	95.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	①能力発揮セミナーの受講者のうち、受講により継続就業に向けた今後のキャリアパスの方針を立てた又は立てつつあるとする者の割合 20年度80%、21年度90%以上	成果実績	%	94.3	94.1			
		達成度	%	118.5	104.6			
	②能力発揮セミナーの受講者のうち、一定期間経過後、「実際に受講が職業能力の向上に役に立った」とする者の割合 80%以上	成果実績	%			91.7		
		達成度	%			114.6		
	③能力発揮・起業に係る相談を受けたことで、抱える問題の解決が図られた者の割合 80%以上	成果実績	%			97.7		
		達成度	%			122.1		
	④女性のエンパワーメント講座構築支援セミナー受講者のうち、一定期間経過後、「受講したことが実際に講座等の企画運営に役に立った」とする者の割合 80%以上	成果実績	%			95.4		
		達成度	%			119.3		
	⑤健康に関する相談を受けたことによって、健康問題に関する具体的な対処方法を見出すことができた又は健康問題が具体的に解決されたとする者の割合 20年度85%、	成果実績	%	97.5	98.7	97.2		
		達成度	%	114.7	102.6	102.3		
	⑥健康問題に関するセミナー受講者のうち、受講により抱える問題の解決に役立つと思うとする者の割合 80%以上	成果実績	%			95		
		達成度	%			118.8		
	⑦健康に関する相談体制強化のための研修会受講者のうち、受講により、女性を支援するための健康促進事業を実施する際に役立つと思う者の割合 80%以上	成果実績	%			94.8		
達成度		%			118.5			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	来館者数	活動実績 (当初見込み)	人	178,272	197,130	205,900 (197,130)	(—)	
	セミナー受講者数		人	4,393	5,088	4,629 (5,088)	(—)	
	相談者数		人	5,184	5,381	4,949 (5,381)	(—)	
	ホームページアクセス数		件	1,919,018	1,821,237	1,848,187 (1,821,237)	(—)	
単位当たりコスト	1,141円 (円/来館者数)		算出根拠	234,908,945(22年度執行額)/205,900人(22年度来館者数)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
		廃止						
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業の適正な実施に資するため、企画競争の結果、適任とされた団体と契約している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>当事業の予算については、平成22年度予算(245百万円)において、平成12年度(652百万円)から62.5%の削減、また、対前年度(301百万円)比でも18.6%の削減を図っており、効率的な事業運営に努めてきたところである。</p> <p>その一方で、利用者のニーズにマッチした事業をタイムリーに企画運営することにより、女性と仕事の未来館の利用者数は増加しており、利用者一人当たりのコストも年々削減してきているところだが、事業仕分けの評価結果及びとりまとめコメントに則り事業は廃止となった。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
-			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>事業仕分け第2弾(事業番号:B-48、事業名:女性と仕事総合支援事業)</p> <p><WGの評価結果></p> <p>直ちに事業の目的・手法を再検討するとともに、女性と仕事の未来館の活用方策について検討する必要がある、そのための契機として、廃止廃止5名、国等が実施1名(事業規模縮減1名)、実施機関を競争的に決定3名(事業規模縮減1名、現状維持2名)</p> <p><とりまとめコメント></p> <p>女性と仕事総合支援事業の政策目的が大変重要であるということは我々も認識している。その上で、厚生労働省としても自ら改革案を提示しているということは、やはり今の事業のあり方については、相当改善をしなければならぬという認識があるものと考えている。そのような前提で、評価者も評価を行った。最終的な判断としては、廃止とさせていただく。これをなくしていいという話ではなく、直ちに事業の目的・手法を再検討していただくための契機として、まず廃止していただく。そして、ゼロベースで、もう一度、国として何を本当にやらなければならないのか、また、女性と仕事の未来館をどのように活用すればいいのかについて、真剣に厚生労働省として検討していただきたい。国としてやるべきことを、廃止という判断を契機として考えていただきたい。</p> <p>事業仕分け第3弾(事業番号:A-18、事業名:(1)女性と仕事総合支援事業、(2)男女ワークライフ支援事業)</p> <p><WGの評価結果></p> <p>(1)女性と仕事総合支援事業は平成22年度で終了</p> <p>(2)男女ワークライフ支援事業</p> <p>(男女ワークライフ支援事業) 国の事業として廃止</p> <p>① 国の事業として廃止7名、② 来年度の予算計上は見送り2名、③ 予算要求の縮減4名、a.半額2名、b.1/3程度を縮減1名、c.その他1名</p> <p>④ 予算要求通り0名</p> <p>(女性と仕事の未来館の活用方策) 閉鎖</p> <p>a.現状通り0名、b.新事業の実施の状況を見て判断1名、c.規模の縮小2名、d.移転3名、e.閉鎖6名、f.その他4名</p> <p><とりまとめコメント></p> <p>男女共同参画と男女ワークライフバランスは大変重要だが、男女ワークライフ支援事業については「国の事業として廃止」、女性と仕事の未来館については「閉鎖」と判定させていただく。理由としては、多くの評価者からあったように、仕分け第2弾での指摘を踏まえた抜本的な改革がまったくなされていない。女性と仕事の未来館の存在意義は真に不明確。ハコモノの時代ではない。仮に本事業のためであっても必要性は薄いのではない。内閣府あるいは地方自治体との二重行政になっているのではない。これらの点に関して、事業仕分け第2弾でも指摘がなされたが、見直しがなされていないのではないかと考える。現在の社会で活発に働かされている女性であればハコモノという考え方はもっていない、ハコモノ型の啓蒙事業というものは過去のものだという意見もあった。</p>			

厚生労働省

女性と仕事総合支援事業の受託者を公募により募集。
精算後の委託費は、246百万円(事業費及び管理費)
から利用者収入22百万円を引いたものに、消費税を掛
けた額。(235百万円)

受託者に事業費(事業費及び管理費)
を支出 246百万円

【公募(企画競争)・委託】

A (財)女性労働協会

女性と仕事総合支援事業を受託、実施

女性と仕事の未来館利用者から
利用料を徴収 22百万円

利用者

セミナー受講料や会議室利用料を支払

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	受託者の人件費、社会保険料	99			
一般管理費	施設管理保守等	85			
庁費	印刷製本費、通信運搬費、ライブラリ 運営等	48			
諸謝金	セミナー等に係る講師等への謝金	13			
旅費	セミナー等に係る旅費	1			
計		246			
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)女性労働協会	女性就業支援全国展開事業の実施	245	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					